

北海道体験移住「ちょっと暮らし」平成26年度実績

※北海道体験移住「ちょっと暮らし」とは

道内の市町村等が運営主体となり、北海道への移住や二地域居住等を希望している方に対し、生活に必要な家具や家電を備え付けた住宅等を用意し、その地域での生活を体験していただくもの。

1 平成26年度実績(H26.4.1～H27.3.31)

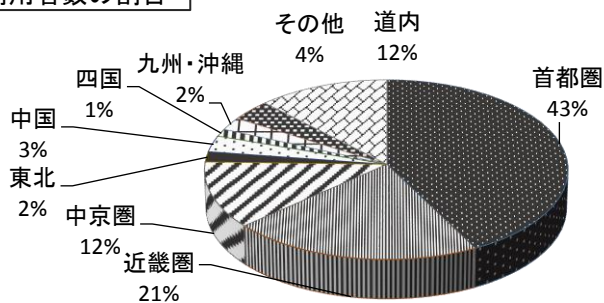
区分	平成26年度実績	対前年度比
利用件数	1,229件	118.1%
利用者数	2,526人	111.6%
滞在日数	66,592日	113.3%
平均滞在日数	26.4日	101.5%

※93市町村で実施し、83市町村で実績あり。

2 利用者の居住地別人数等

利用者の居住地	利用件数	利用者数	滞在日数
首都圏	498件	1,071人	25,841日
近畿圏	265件	534人	16,672日
中京圏	140件	300人	8,195日
東北	23件	47人	1,097日
四国	39件	74人	2,361日
中国	18件	34人	1,050日
九州・沖縄	30件	58人	1,417日
その他	54件	96人	3,692日
道内	162件	312人	6,267日

利用者数の割合



3 利用者数等上位10市町村

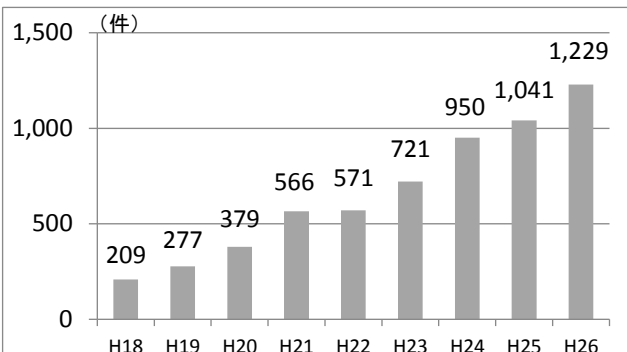
順位	利用者数	順位	滞在日数
1	釧路市 295人	1	釧路市 8,812日
2	二セコ町 117人	2	浦河町 3,617日
3	浦河町 98人	3	二セコ町 3,567日
3	栗山町 98人	4	美瑛町 2,898日
5	登別市 96人	5	栗山町 2,525日
6	上士幌町 94人	6	紋別市 2,094日
7	厚沢部町 77人	7	日高町 2,041日
8	中標津町 75人	8	中標津町 1,978日
9	紋別市 73人	9	旭川市 1,771日
10	新ひだか町 64人	10	上士幌町 1,709日

注1 全市町村を対象に調査を実施。ただし、平成23年度以前については、移住相談ワンストップ窓口を設置している市町村のみを対象に調査を実施

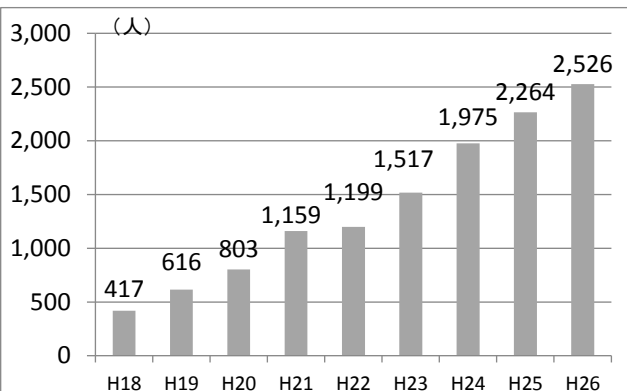
注2 期間はH27.3月末で区切り、4月以降も継続して滞在する予定の日数についてはカウントしていない

注3 滞在日数については、延べ数を記載

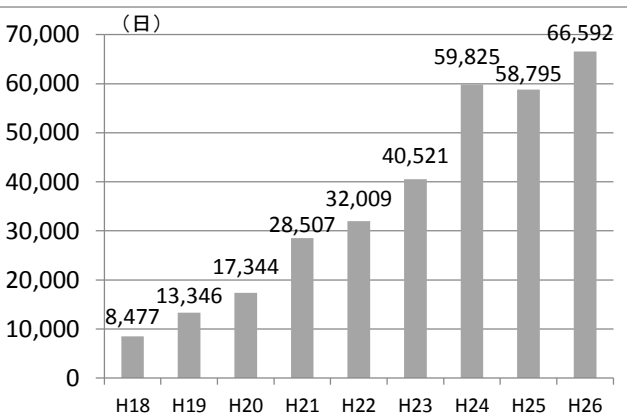
4 利用件数の推移



5 利用者数の推移



6 滞在日数の推移



7 平均滞在日数の推移

